

住民参加のまちづくり

後援会会長／副会長からの応援

後援会会長 古山 孝夫 (宮字沖)

加川敦君とは、この町に同年に生まれ、この方63年間心を許せる唯一の友として過ごして参りました。

彼の、蔵王町の将来を見据えた施策や考えは豊富な人生経験を物語っており、大いに共感出来るものと確信いたします。

蔵王町民の幸せ実現のため全力で応援いたします。何卒皆様のご理解と、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

後援会副会長 松田 耕一 (円田峯山)

加川敦さんとは、平成24年から共にNPO法人蔵王町協働会の設立／運営に取り組んできました。

加川さんの元気で行動力のある姿は、初対面の方々からも好感を得ています。彼の笑顔と姿勢の裏には、強い正義感と使命感をいつも感じてきました。また、研究熱心でこの蔵王町を楽しく勤める町、誰もが住みたいと思う町にするための力強い闘志を持っている加川さんです。

どんな改善改革が必要か、理想を実現するためには本人の努力が最前提ですが、後援を頂く地域の皆様の力が源となります。皆様一人一人の力で、加川さんの様な素晴らしい人材を蔵王町で育ててください。みんなで応援してください。

よろしくお願ひいたします。

加川 敦 プロフィール 他

- 昭和27年12月生まれ(63歳)
- 宮小学校／宮中学校卒業
- 白石高等学校卒業
- 東北学院大学工学部機械工学科卒業
- 本田技研工業(株)入社 情報システム部配属
ベルギー・欧洲本社(3年駐在)
英國ロンドン支店(3年駐在)
システム部長として勤務
- 宮城に帰省、税理士事務所に勤務しながら「税法・社保/労保関連法」を学ぶ
- 日本年金機構 岩手事務センター勤務
- 平成25年4月 定年退職後蔵王町に帰省
- 平成26年4月 NPO法人蔵王町協働会設立
理事長に就任(現)

コンピュータ技術者／システム管理者でありながら
社会保障の知識／見識を持ちます

- 趣味
軽登山、音楽、絵画、料理

- 座右の銘

これまでの人生を活かせるのは
これから的人生にある



加川 敦
あつし
後援会のご案内
<http://kagawa.me>

こんな課題に取り組みます

超高齢社会

独り暮らしが不安
年金では生活できない
介護は大変



- 地域包括支援システムで支え合う体制
- 健康寿命を延ばし
元気で働く協働社会の実現

少子化

経済的負担
教育環境・労働環境が乏しい



- 安心して子育てができる環境
- 個性を伸ばし「夢を実現する力」を育む
- 優良企業誘致

皆様へのお願い

- 無関心と諦めは町を衰退させる根源です。まずは参加してください。
- 思うことを発言し、他者の意見も聴いてください。
- 審容で、話し合い・認め合い、諦めずに協力してください。
- できる範囲で行動してください。資源は我々住民です。

「できない」と言うことは簡単です。
どうしたらできるかを考え、やってみることが大切です。

農業と観光

後継者不足
TPP等国際競争激化
観光業の疲弊



- 農業従事を希望する若者の増加
- 6次化／特殊野菜／機能性野菜／エディブルフラワー
- ふるさと納税制度活用
- 環境・地形を活用 トレンドに対応
(山ガール、アジアの観光客増加、B級グルメ、SNS等活用)

ICT化・スマートタウン化

- 自然エネルギーを利用して
経済負担軽減
- 医療／介護・セキュリティー・
教育・農業・観光 分野での活用



住民参加で必ず
新しく豊かなまちが
実現できます



加川 敦 後援会ご入会のお願い

後援会へご入会いただきご指導ご鞭撻を
いただきますようよろしくお願ひいたします。

後援会会則(抜粋)

- 本会は加川敦と蔵王町の未来を考え活動し町制の発展と町民の生活向上、会員相互の親睦を図ることを目的とします。
- 本会は上記目的を達成するために次の諸活動を行う。
 1. 研究会、座談会、講演会等の開催
 2. 会報等の発行
 3. その他 目的達成に必要な事業
- 本会の目的に賛同する者をもって会員とする

加川 敦 後援会ご入会申込書

お名前／団体名

ご住所

電話番号(Fax・メール)

※この内容をFax又はメールにてお知らせ願います

加川 敦 後援会事務所

〒989-0701 蔵王町宮字町40

TEL **090-8786-5662** (古山)
TEL **080-8424-2497** (加川)

eFax:022-774-1980
Mail:mail@kagawa.me
HP:<http://kagawa.me>